

## 社寺建築学習会

周防大島の宮大工が建てた町内外の社寺について、最新の研究成果を報告する学習会が3月1日、久賀総合センターで開かれ、約90人が参加しました。町文化振興会が主催。

学習会では、四国などに出稼ぎし、彫刻の腕に磨きをかけ「長州大工」と呼ばれた東和の宮大工たちと、島にとどまり、四境の役で被災した郷土の復興に尽くした久賀の宮大工たちを紹介。松山東雲短大の犬伏武彦教授は「どちらも懸命に働いていた様子が、残された社寺や文書から伝わってくる」と解説し、「今後も周防大島の皆さんとともに研究を続け、宮大工たちの業績を明らかにしていきたい」と話していました。



## 海外ボランティアへ派遣



開発途上国などで技術指導を行うシニア海外ボランティアとして、河村康夫さん（西方）がネパールへ派遣されることになり、3月17日町長を表敬訪問しました。

ネパールでは日本の富有柿の栽培に取り組んでおり、せん定や栽培の技術指導のほか収穫物の販売に関する助言が求められています。河村さんは、山口県農林総合技術センター農業技術部大島柑きつ試験場（東安下庄）で、ミカンなど柑きつの栽培技術を指導してきた経験を活かし、3月下旬から2年間、ネパールで日本種の甘カキなど果樹栽培技術の指導を行います。

## 大島警察署長から感謝状

3月24日、行方不明者捜索で大島警察署長から感謝状が贈呈されました。

去る3月15日の夕方から、安下庄地区で行方不明になっていた3歳の女の子を、地元の方々をはじめ大島警察署員、県警機動隊員、橘支部消防団員、柳井地区広域消防署員、自衛隊員や山口県警のヘリコプター「あきよし」で捜索。翌日の午後には地元の方が女の子を発見し、無事救助されました。

この度の捜索において第一発見者の安本貞敏さん（西安下庄）と、捜索に協力された団体の中川憲幸正分区長および安達雅由橘支部団長に、横道宏明大島警察署長から感謝状が贈呈されました。捜索に当たって、ご協力いただいた地元の方々、関係機関に深くお礼申し上げます。



右から安達橘支部団長、安本さん、正分区の中川さん、木村さん。